

所属	看護医療学部看護学科	職位	准教授	氏名(学位)	草野純子(修士(人間科学))	
所属学会	日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本国際情報学会、日本生命倫理学会、日本哲学界、日本放射線看護学会、日本公衆衛生学会					
専門領域	基礎看護学					
研究テーマ	情報学、ケアリング、スピリチュアルケア、教育学、看護哲学、技術教育、食育、防災					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む)	学生のパフォーマンス能力を高め学習意欲が向上するように、ロールプレイングを用いたり、キーワードテストやポートフォリオ作成を行うなど、学生が学習してきた振り返りがしやすいような授業構成を行った。					
2 作成した教科書、教材、参考書	基礎看護実習等の手引きを作成した。看護過程で用いる事例を作成した。点滴静脈注射の準備、固定法のビデオを作成し、イメージ化を図った。					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育上特記すべき事項						
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌(および巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	頁数
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ・意識と脳科学の現状から考える情報の可能性についての考察—量子論の仮説に基づいて— ・スピリチュアルペインの一考察 —前世療法事例から— ・看護教育における創造性・論理的思考力育成方法の考察 —プログラミング教育を用いることでの可能性について— ・2D世界の影響の考察—生活様式への影響を中心に— ・タッチの意義考察—現在のAIの特徴とタッチ文献からの比較 ・安楽死に関する質問紙調査を手がかりに死生観を育む看護教育の検討—スピリチュアリティの視点からの考察— ・日本における「ケアリング」研究の動向と課題—「ケアリング実践」に関する研究の看護・社会背景からの検討— ・タッチの効果について—触れる部位・触れる方法に焦点をあてて ・手の力の可能性—触れることの影響について 	単著	2016年6月	日本国際情報学会誌『kokusai-joho』1巻1号	草野純子、安田裕子 林香純、安田裕子 安田裕子、倉島幸子、 草野純子、牧野美樹 柿原加代子、 <u>草野純子</u> 、林香純 林香純、 <u>草野純子</u> <u>草野純子</u> 、林香純、柿原加代子、安田裕子 安田裕子、加藤泉、 <u>草野純子</u> 二村純子、安達内美子、 <u>草野純子</u> 、坂本真理子、西川和裕	48-51
		共著	2016年12月	日本国際情報学会誌第13巻1号		61-71
		単著	2017年12月	日本国際情報学会誌『Kokusai-Joho』2巻1号		10-17
		単著	2018年7月	日本国際情報学会誌『Kokusai-Joho』3巻1号		20-28
		共著	2019年12月	日本国際情報学会「文化情報研究」第1号		65-75
		共著	2019年12月	日本国際情報学会「文化情報研究」第1号		76-89
		共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号		17-29
		共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号		30-36
		共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号		37-45
		共著	2021年3月	日本国際情報学会「文化情報研究」第2号		46-57
紀要			2019年12月	愛知医科大学看護学部紀要第18号		13-23

Ⅲ 主な学会活動			
発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
・放射線診療に携わる看護師が実践している医療被曝による有害事象への看護に関する調査	共同	2016年9月	日本放射線看護学会(第5回日本放射線看護学会学術集会)
・地方創生にパワースポットを活かした取り組み事例とポケモンGoとの比較からみる地方創生の課題考察	単独	2016年12月	日本国際情報学会2016年度大会
・The examination of Past Life Therapy: An investigation of Spiritual Care	共同	2017年3月	The 20 th EAFONS East Asian Forum of Nursing Scholars Hong Kong
・Radiation protection status of nurses during an Interventional Radiology examination and awareness of nursing supervisors	共同	2017年3月	The 20 th EAFONS East Asian Forum of Nursing Scholars Hong Kong
・看護教育におけるプログラミング教育の可能性	単独	2017年6月	日本国際情報学会愛知(PH)研究部会
・生体電流の調整についての仮設考察	単独	2017年7月	日本国際情報学会超領域社会工学研究会
・看護職者の職業被曝防護に関する知識—研修会の理解度調査分析より—No.2	共同	2017年12月	日本看護科学学会第37回学術集会
・食育の課題—食育の試みから—	単独	2018年12月	日本国際情報学会2018年度大会
・触れる部位・触れ方に焦点をあてたタッチの効果についての文献検討	共同	2019年8月	日本看護研究学会学術集会
・タッチ研究の動向と看護の変遷・社会動向の関連	共同	2019年8月	日本看護研究学会学術集会
・多様性社会におけるイノベーション創出のための 発想力育成教育の考察	単独	2019年12月	日本国際情報学会2019年度大会
・Trends and Challenges in Research On "Caring" in Japan-The Nursing and Social Perspectives	共同	2020年1月	EAFONS2020 23 rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・comparison of Nursing Student's Answers to a Survey on Euthanasia in Their First and Third Year:Cultivating Perspectives on Death and Dying through Spiritual Care Education	共同	2020年1月	EAFONS2020 23 rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Why Touch Research is Necessary in the AI Era-Based on a Literature Review on Touch and Caring	共同	2020年1月	EAFONS2020 23 rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Improvement of Curriculum Evaluation on the Development of Nursing Practice Ability in Basic Nursing Education for Students and Nurse Graduates	共同	2020年1月	EAFONS2020 23 rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・Learning Effects of Simulated Case Study Conferences by Nursing Students and Pharmacy Students	共同	2020年1月	EAFONS2020 23 rd East Asian Forum of Nursing Scholars
・サバイバル飯体験報告	単独	2020年3月	日本国際情報学会長領域社会工学研究会
・手の力の可能性 -触れることの影響について事例からの考察	単独	2020年12月	日本国際情報学会2020年度大会
Ⅳ 社会における主な活動			
活動期間	活動内容等		
2016年12月～2017年12月	日本国際情報学会 2017年度 大会・総会 学術大会委員長・実行委員長		
2019年12月～2020年12月	日本国際情報学会 2017年度 大会・総会 午後の部 第1会場 座長		
	日本国際情報学会 2020年度 大会・総会 学術大会実行委員長		
	日本国際情報学会 2020年度 大会・総会 午後の部 第1会場 座長		
2020年1月～	日本国際情報学会文化情報研究部会 部会誌 編集・発刊		